

東西冷戦下の1960年代、米国国防総省高等研究計画局(ARPA)の指揮の下、パケット交換方式による調査・研究用のコンピュータ・ネットワークARPANETが生まれました。これがインターネットのはじまりです。インターネットはその後、学術研究ネットワークへ、そして商用サービスへと発展していきます。NTT研究所はTCP/IPを用いた所内LAN構築を1984年から開始し、1988年には世界で初めて日米間でのTCP/IP接続を成功させました。またNTTは、インターネットの管理・運用に関する世界的組織の運営にも、創立当初から貢献していました。

- 1960
- 1961 ● マサチューセッツ工科大学のレオナルド・クラインロックが「パケット交換理論」についての論文を発表。
 - 1964 ● ランド研究所のポール・バランがパケット交換による分散ネットワークの論文を発表。
 - 1969 ● ARPAが今日のインターネットの原型となる「ARPANET」を運用開始(コンピュータ4台、回線速度50Kbps)。
- 1970
- 1971 ● BBN社のレイ・トムリンソンが電子メールプログラムを開発。翌年、ARPANET用に改良され、@を使ってユーザ名とマシンを指定できるようになった。
 - 1973 ● INWG(International Network Working Group)でヴィントン・サーフ とボブ・カーンがインターネットの基本構想を提示。
 - 1974 ● UCLAのヴィントン・サーフとボブ・カーンがIEEEの学会誌に「TCP」(Transmission Control Protocol、後のTCP/IP)を発表。
 - 1979 ● 米国のデューク大学とノースカロライナ大学を「UUCP」(Unix-to-Unix CoPy)で結んだ「USENET」開始。
- 1980
- 1980 ● NTT、デジタルデータ交換(DDX)網においてD50交換機でパケット交換を行うサービスを開始。
 - 1981 ● 「IP」(Internet Protocol: RFC791)、「ICMP」(Internet Control Message Protocol: RFC792)、「TCP」(RFC793)が標準化。
● 米国政府機関である全米科学財団(NSF)の支援により「CSNET」(Computer Science research NETwork)運用開始。
 - 1982 ● ARPANETが「TCP/IP」を標準プロトコルに採用。翌年、ARPANETにTCP/IPを導入。
 - 1983 ● CSNETとARPANETが接続。軍事目的のネットワーク研究はMILNET(MILitary NETwork)としてARPANETから分離。
● NTT研究所、所内にEthernetによるLAN構築を開始。
 - 1984 ● NTT研究所、UUCPで結ばれるLAN間ネットとして、研究所間を結んだネットワーク「NTT-INET」の構築開始。TCP/IPによるLAN構築活動開始。
● 「JUNET」(Japan University NETwork)発足。当初は電話モデム(1200bps)で東京工業大学、東京大学、慶應義塾大学が接続。
 - 1985 ● NTT研究所、海外電子メール利用開始。
● NTT研究所、内部の電子メール網をJUNETと接続。
 - 1986 ● NSF、5つのスーパーコンピュータセンターを結んで、回線速度56Kbpsの「NSFNET」運用開始。
● 「IETF」(Internet Engineering Task Force)設立。
 - 1987 ● NTT-INETがCSNETに加盟・接続。
 - 1988 ● 「WIDE」(Widely Integrated Distributed Environment)プロジェクト発足。
● NTT-INETが正式に発足。
● NTT研究所、CSNETのホストとのTCP/IP接続に成功し、IPパケットが太平洋を初めて横断。
● インターネットにウィルスが侵入し、接続ホスト6万台のうち6000台が感染。ウィルス対策としてARPAがコンピュータ緊急対応チーム「CERT」を設置。
 - 1989 ● 「.jp」(ドット ジェイ ピー)ドメインの運用開始。
● NTT研究所、ソフトウェアの開発・保守運用部門の分散開発環境間を相互に結んだネットワーク「CAE-NET」(Computer Aided Engineering NET)を構築。
- 1990
- 1991 ● ドメイン名やIPアドレスの割り当て業務を行うネットワーク情報センタ「JNIC」発足。
 - 1992 ● インターネット協会「ISOC」(Internet SOCIety)創立。第1回国際会議を神戸市で開催。
ISOCの下部組織として「IAB」(Internet Architecture Board)発足。
 - 1993 ● JNICの後継として、会員制の任意団体である日本ネットワークインフォメーションセンター「JPNIC」(JaPan Network Information Center)発足。
 - 1994 ● 国公立試験研究機関や支援機関を結ぶ実験ネットワークである省際研究情報ネットワーク(IMnet)運用開始。
 - 1996 ● NTT、ドメイン「ntt.co.jp」のDNS運用開始。
 - 1998 ● NTT、ドメイン「ntt.jp」のDNS運用停止。
● 学術情報ネットワーク「SINET」(Science Information NETwork)がインターネット相互接続運用開始。